

「真澄」は富士見産のお酒

まだ雪が舞う2月下旬、富士見町議会は休戸にある宮坂醸造の酒蔵「富士見蔵」を見学しました。宮坂直孝社長に建屋の案内をしていただきました。

諏訪市元町に本社のある老舗蔵元の宮坂醸造は今年で創業356年。富士見町に進出し、酒蔵を開設してから今年で36年目になります。江戸後期から続くブランド「真澄」は、今では65%が富士見蔵で製造されています。「真澄は富士見産のお酒」と言っても過言ではありません。純米大吟醸の「夢殿」も富士見蔵の特別室で時間を掛けて造られています。

富士見蔵は、入笠山麓から流れ出る水を使用しますが、程久保川の水はカルシウムを多く含むため、当初は酒造りが難しかったそうです。しかし、カルシウムを除去する装置が開発され、同社は生産拠点を次第に富士見蔵に移してきました。

東京五輪に向けてスパークリング酒の製造にも着手しました。

宮坂社長の案内で富士見蔵を見学



宮坂直孝社長(中央)の案内で、富士見蔵の酒母発酵タンクを見学する町議会議員

今後について宮坂社長は、「広い敷地を活かし、売店や試飲など観光的な要素も考えたい」と構想。真澄の全出荷量のうち、富士見蔵の製造を「将来的には75%から85%に増やし、真澄の拠点蔵として大切にしたい」と語りました。

履き替え不要です

傍聴にお出かけください

次回の町議会6月定例会は、前例に従うと、6月7日(木)の開会です。一般質問は11日(月)、12日(火)の両日、午前9時から開く

見込みです。住民の皆さんの傍聴をお待ちしています。なお、日程が変わる可能性もあるので、ご確認をお願いします。

役場4階の議会棟は靴を脱がずにそのまま入っただけのようにになりました。スリッパに履き替える必要はありません(泥靴は除く)。お問い合わせは議会事務局(電話62・9403)へ。

議会傍聴者の感想

□もっと突っ込んだ内容を

町議会3月定例会の一般質問を傍聴し、感じたことを書かせていただきます。議員の質問内容が、明確性に欠けていたこと、町側の答弁に対して、具体的な事柄とか、時間的なことについて、もっと突っ込んだ内容を引き出してもよかった、と感じました。町の代表であるという自覚を持ち、一般質問を町政に活かしてほしいと思います。また、質問するときに「エー」という言葉が多過ぎます。聞きづらく、たいへん残念でした。

(富士見、小池万泰さん 73)

□町民を思いやる町政を実感

初めて議会の一般質問を傍聴させていただきました。礼儀正しく、厳格な雰囲気の中で行われていると感じました。一般質問の応答を聞いていると、町民が笑顔で過ごせられるのも、この議会が根底にあるからだ、と、真から実感しました。町民を心から愛しているようすも伺いとれました。

(信濃境、吉岡高雄さん 67)

新誌面をお届け

3月定例会では、「議会だより」の予算増額が可決されました。これにより、4ページ増の16ページとなり、表紙・裏表紙は毎号カラーとなります。今回の5月1日号から新誌面をお届けします。

町民の皆さんが議会への理解を深め、町政への関心を高めていただくために、「議会だより」を、年4回開く定例会ごとに発行しています。議案や請願・陳情の審議内容、そして一般質問などを中心に議会活動の活動状況、審議状況をお知らせします。

広報編集委員会は、誌面作成のスキルを高め、議会審議の情報を分かりやすく伝えるようこれからも努力します。

(議会広報編集委員会委員長 川合弘人)

<富士見町議会へご意見をお寄せください>

【No.153】 平成30年5月1日発行 発行：富士見町議会／編集：議会広報編集委員会

委員長：川合弘人／副委員長：矢島 尚／委員：小池 勇 五味 高幸

〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合 10777

TEL：0266-62-9403 FAX：0266-62-9320 E-mail：gikai@town.fujimi.lg.jp